

2022

Academic Integrity Policy

札幌日本大学高等学校



札幌日大の学問的誠実性

札幌日本大学高等学校は、IB ワールドスクールの一員として、生徒のなかに誠実な態度を育成する。IB が示す学習者像のひとつに

私たちは誠実かつ正直に、公平な考えと強い正義感をもって行動します。そして、あらゆる人々が持つ尊厳と権利を尊重して行動します。私たちは、自分自身の行動とその結果に責任をもちます。（『学問的誠実性』（IBO、2021））

とあるように、この特質は学問的活動内に限らず生活のあらゆる側面において適用されるべきものである。生徒が自覚なく不誠実な行動を取らないように、精神的・技術的な援助を与えるのは、本校全教職員の責任である。この文書では学問における誠実性に的を絞り、不正行為の定義とそれに対する処分、不正行為を防ぐための方策などを示す。

学問的誠実性における役割

- ・管理職
学校管理職は学問的誠実性について、教職員や生徒、保護者に文書でその内容を周知する責任を持つ。IBDP ハンドブックや EE ハンドブックの製作を監督し、その中で学問的誠実性についての情報を不足なく盛り込むものとする。
また不正行為が発覚した場合には DPC からの調査報告を受け、生徒及び保護者に調査結果とその処分を通知する。学校による不正や過失が発覚した場合には、DPC や第三者とともにその調査を行い、必要な処置を行う。
- ・DPC
EE コーディネーターが学問的誠実性について説明するガイダンスの機会を設ける。掲示物やハンドブック等を製作し、生徒に学問的に誠実であるとはどのようなことなのかを誤解なく理解できる環境を作る。
生徒による不正行為が発覚した場合は他の教職員と協力して調査を行い、その結果を学校長に報告する。学校による不正や過失が発覚した場合には、学校長や第三者とともにその調査を行い、必要な処置を行う。
- ・教員
教員は授業の内外を問わずあらゆる機会をとらえて生徒に学問的誠実性の大切さを教えるものとする。EE コーディネーターや DPC と協力し、生徒が意図的かそうでないかに関わらず、学問的に不誠実な行動を取らないよう細心の注意を払う。
- ・学校司書
本校の学校司書は EE コーディネーターを兼任するものとする。学校司書兼 EE コーディネーターは学問的誠実性についてのガイダンスを行うほか、調査研究の際の資料探しについても必要なアドバイスを与え、生徒たちが正しく効率的に学習できるよう援助を与える。

不正行為の定義

生徒による不正行為とは、自分自身もしくは他者に対して不当に学問的利益をもたらす行為を指す。具体的には、以下のような行為である。

- ・ 剽窃、盗用： 他者の考えや作品を、あたかも自分のものであるかのように示すこと。他人の知的財産権や著作権を侵害する行為はここに含まれる。
- ・ 改竄： 文書や記録等が本来変更されるべきでないときに変更されること。
- ・ 捏造： 実験のデータ等を捏造すること。
- ・ 共謀： 他の生徒等と示し合わせて不当な学問上の利益を得ようとする。自分の制作物を他人のものとして提出する行為や、考査の内容を伝えて他の受験者に不当な利益をもたらそうとする行為がここに含まれる。
- ・ 二重使用： 一度提出した制作物を別の課題に再提出すること。
- ・ 外注： 翻訳サービスによって作成された文章を、生徒自身が手を入れることなくそのまま提出すること。
- ・ カンニング： 試験中に他人の解答を盗み見たり、持ち込みが禁止されているものを試験会場に持ち込んで解答の手助けにしたりすること。

ここで挙げられていない行為であっても、自分自身もしくは他者に対して不当に学問的利益をもたらそうとする行為であると判断された場合は、意図的かそうでないかに関わらず、処分を受けることになる。

不正行為を防ぐための方策

学校は生徒による不正行為が行われないよう、適切な方策をとる責任をもつ。具体的には、以下の項目の内容を確実に履行する。

- ・ 『学問的誠実性に関する方針（本文書）』の内容を生徒・保護者・関係する教職員に対して周知する。本文書は必要に応じて適宜内容を更新する。
- ・ 教職員は生徒に対し、あらゆる機会をとらえて学問的誠実性の必要性を説明する。正しい引用の仕方、適切な共同作業と共謀との違い、試験において許される行為と許されない行為の範囲などを伝え、生徒が誤って不正行為を行わないよう細心の注意を払う。
- ・ 図書館司書と EE コーディネーターは、論文作成における正しい引用の説明において中心的な役割を果たす。本校では英語論文作成に APA スタイルを使うものとし、生徒には APA ハンドブック等を使用して見本を示す。

- ・生徒が提出した課題に不正行為がないかどうかを確認し、問題があればそれを DPC に報告する。剽窃のチェックには Turnitin Feedback Studio を使用する。このようなチェック体制があることを生徒にも事前に伝える。

不正を疑われる行為が発生した場合の対応

課題作成に関連する不正行為について、IB への提出前に学校内で不正が発見された場合、意図的かそうでないかに関わらず、以下の手順に従って対応するものとする。

1. 不正を疑われる行為の発見者は速やかに DPC へ報告を行い、必要な情報提供を行う。
2. DPC は関係する生徒や教職員（もし必要があれば保護者）への聞き取りを行い、不正行為の有無について最終的な判断を下す。この際、当該生徒には弁明の機会が与えられなければならない。また、必要に応じて他教職員による情報収集も行う。
3. DPC は調査結果を学校長に報告する。
4. 学校長は生徒及び保護者に対して調査結果とその処分を伝える。
5. 生徒及び保護者には処分に対する異議申し立てを行う機会が与えられる。異議申し立てがあった場合、学校長はその内容を検討し、判断を下し、その内容を生徒及び保護者に通知する。
6. 一連の調査で収集された情報は最短でも 5 年間保管される。

なお、調査の結果不正が認定された場合、処分は以下の通りとする。

- ・初めての不正行為だった場合、十分に必要な指導をしたうえで、もう一度課題を作成・提出させる。この際、引用のミス等を修正させるか新たな課題を与えるかは、当該教科が決めるものとする。
- ・2 回目の不正行為だった場合、保護者を召喚し、次回不正行為が認定された場合は IB プログラム参加を取り消すことを通告する。
- ・3 回目の不正行為だった場合、IB プログラムへの参加を取り消す。

試験中の不正行為や、IB へ提出した課題のなかに不正が発見された場合、IB の規定(BO, 2021)に則って調査と処分が行われる。提出課題のなかに剽窃が含まれていた場合、内部評価では「F」、外部評価では「未提出」となり、当該生徒は対象科目において最終成績を受け取る資格を失う。

学校による不正または過失

学校による不正または過失とは、生徒に対して不当に学問的利益をもたらす行為を指す。『学問的誠実性』(IBO, 2021)によると、具体的には以下のような行為である。

- ・ 課題作成において過度なサポートを提供する。
- ・ 試験において、IB からの承認を得ることなく規定時間以上の時間を与える。
- ・ 試験監督者の数が不十分である。
- ・ 試験監督者が適切な研修を受けていない。
- ・ トイレに退席した生徒の監視を怠る。
- ・ 試験実施科目の担当教師を試験会場に入室させ、生徒の援助をさせる。
- ・ 生徒の電卓が試験モードになっていることを確認しない。
- ・ 持ち込み禁止物の確認をしない。
- ・ 試験資材が安全に保管されない。または決められた時間の前に試験内容を閲覧する。

学校による不正または過失を防ぐための方策

善意もしくは無意識から行われる教員の過度なサポートが発生しないように、また試験における違反行為が起らないように、DPC が責任をもって担当教諭に適切な情報提供を行う。試験実施前には IB が提供する "Conduct of examinations booklet" (IBO, 2020) の内容を確認する研修を実施する。

学校による不正または過失が疑われる場合、本校は『学問的誠実性』(IBO, 2021) に示されている手順に則って対応する。すなわち、IB によって指定された調査責任者(学校長、DPC、または第三者)が通知から 10 営業日以内に「学校教職員用陳述書(学校による不正または過失の疑い)」を用いて IB に調査報告を行う。この際、調査責任者は調査の実施について、関係者全員に対して速やかに通知する。調査対象者に対して聴取が行われ、申し立てに対して意見を述べる機会が与えられる。IB からの処分には IB プログラム認定の取り消しや、当該生徒への制裁が含まれる可能性もあるということを意識して、教職員は業務にあたる必要がある。

方針の見直し

本方針は 2021 年 8 月に策定され、毎年度末に検証と見直しをされるものである。運営委員会による改訂案を学校長が決裁し、改訂が行われる。

参考資料

- ・ 『学問的誠実性』(2021) 国際バカロレア機構
- ・ "Academic Integrity" (2019) International Baccalaureate Organization
- ・ "Conduct of examinations booklet 2022" (2021) International Baccalaureate Organization
- ・ "Diploma Programme Assessment procedures 2022" (2021), International Baccalaureate Organization
- ・ "General regulations: Diploma Programme" (2014), International Baccalaureate Organization

Academic Integrity at Sapporo Nichidai

As a member of the IB World School, Sapporo Nihon University High School fosters an attitude of integrity in its students. From the IBO's Learner Profile:

We will act with integrity, honesty, fairness, and a strong sense of justice. We will act with respect for the dignity and rights of all people. We will take responsibility for our own actions and their consequences. We take responsibility for our actions and their consequences.

(IBO, 2021))

This characteristic should be applied not only within academic activities, but in all aspects of life. It is the responsibility of all faculty and staff of the school to provide students with the emotional and technical support they need to avoid unconscious acts of dishonesty. This document focuses on academic integrity and provides a definition of academic dishonesty, the punishment for it, and ways to prevent it.

Roles in Academic Integrity

Administrators

- School administrators are responsible for communicating academic integrity in writing to faculty, staff, students, and parents. They shall oversee the production of the IBDP and EE handbooks and ensure that they contain sufficient information on academic integrity. They shall oversee the production of the IBDP and EE handbooks and ensure that they include sufficient information about academic integrity.
- If misconduct is discovered, the DPC will report on the investigation and notify the student and his/her parents of the results of the investigation and the punishment. If fraud or negligence by the school is discovered, it will be investigated together with the DPC and third parties, and the necessary measures will be taken.

DP Coordinator

- The DPC will provide guidance opportunities for the EE coordinator to explain academic integrity. They will create bulletin boards, handbooks, and other materials to help students understand what it means to have academic integrity.
- If any misconduct by a student is discovered, an investigation will be conducted in cooperation with other faculty members, and the results will be reported to the

school principal. If any fraud or negligence by the school is discovered, it will be investigated together with the school principal or a third party, and necessary measures will be taken.

Teachers

- Teachers shall take every opportunity, both inside and outside the classroom, to teach students the importance of academic integrity. In cooperation with the EE Coordinator and the DPC, teachers shall take great care to ensure that students do not engage in intentional or unintentional academic dishonesty.

School Librarian

- The school librarian at the school shall also serve as the EE coordinator. The school librarian/EE coordinator will provide guidance on academic integrity, give advice on finding materials for research, and help students learn correctly and efficiently.

Definition of Fraud

Cheating by a student is defined as any action that provides an unfair academic advantage to oneself or others. Specifically, it is any of the following actions

Plagiarism, intellectual theft

- Plagiarism is the practice of presenting another person's ideas or work as if they were one's own or infringing on the intellectual property rights or copyrights of others.

Falsification

- Alteration of documents, records, etc., when they should not have been altered.

Fabrication

- Forgery of data, statistics, etc.

Collusion

- An attempt to gain an unfair academic advantage by conspiring with others. This includes the act of submitting one's own work as another's or communicating the contents of an examination to give an unfair advantage to another examinee.

Duplicate Submissions

- Resubmitting a work that has already been submitted for another assignment.

Outsourcing

- The text produced by the translation service must be submitted as is, without any alterations by the student.

Cheating

- Stealing another person's answers during an exam or bringing prohibited items into the exam room to help answer the questions.

Even if an act is not listed here, if it is judged to be an attempt to bring undue academic benefit to oneself or others whether intentionally or unintentionally, it will be punished.

Measures to Prevent Fraud

The school is responsible for taking appropriate measures to prevent cheating by students. Specifically, the school will ensure that the following items are implemented:

- The content of the Academic Integrity Policy (this document) will be communicated to students, parents, and relevant faculty and staff. This document will be updated as necessary
- Teachers and staff will take every opportunity to explain to students the need for academic integrity, correct citation, the difference between proper collaboration and collusion, and the range of acceptable and unacceptable behavior on exams.
- The librarian and EE coordinator will play a central role in explaining correct citation in paper writing. The school will use APA style for writing English papers, and students will be shown examples of proper APA usage.
- Assignments submitted by the students will be checked for cheating, and any problems reported to the DPC. The school will use Turnitin Feedback Studio to check for plagiarism. Students will be informed in advance that such a system is in place.

Actions to Be Taken in the Event of Suspected Fraud

Any cheating related to assignment preparation, whether intentional or unintentional, that is discovered within the school prior to submission to the IB, shall be dealt with according to the following procedures.

1. The person who discovers the suspected fraudulent act will promptly report it to the DPC and provide all necessary information.
2. The DPC will interview the students and staff involved (and parents if necessary) and make a final decision on whether or not any wrongdoing occurred. At this time, the student must be given an opportunity to explain. Other members of the faculty and staff will also gather information as necessary.
3. The DPC will report the results of the survey to the school principal.
4. The school principal will inform the student and the parents of the results of the investigation and the punishment.
5. The student and parent/guardian will be given the opportunity to appeal the action. If an appeal is filed, the school principal will review the appeal, make a decision, and notify the student and parents of the decision.
6. The information collected in the series of investigations will be kept for a minimum of five years.

In the event that fraud is identified and confirmed as a result of the investigation, the punishment will be as follows:

- If it is the first time for the student to cheat, give him/her the necessary guidance and then ask him/her to write and submit the assignment again. In this case, it is up to the teacher of the relevant subject to decide whether to allow corrections of the citation errors or to give a new assignment.
- In the event of a second instance of cheating, the parents/guardians will be summoned and notified that the next instance of cheating will result in revocation of participation in the IB Program.
- If it is the third time a student has been found to have cheated, their participation in the IB Program will be cancelled.

Cheating during examinations or in work submitted to the IB will be investigated and disciplined in accordance with IB regulations (IBO, 2021). Plagiarism in submissions will result in an internal grade of "F" and an external grade of "Not Submitted" and the student will not be eligible to receive a final grade in the subject.

Fraud or Negligence by the School

Fraud or negligence by a school refers to any action that provides an unfair academic advantage to a student. According to "Academic Integrity" (IBO, 2021), it is specifically the following actions

- Providing excessive support in writing assignments.
- Giving more than the specified time in the test without IB approval.
- Having an insufficient number of examiners.
- Having examiners who have not received proper training.
- Failing to monitor students who leave for the restroom.
- Having the teacher in charge of the subject being tested enter the testing room and assist the students.
- Failing to make sure the students' calculators are in test mode.
- Failing to check for prohibited items.
- Failing to store test materials properly or allowing test contents to be viewed before the allotted time.

Measures to Prevent Fraud or Negligence by the School

The DPC will be responsible for providing appropriate information to the teacher in charge to prevent excessive support by the teacher, which may be done with good intentions or unintentionally, and to prevent violations in examinations. Prior to the administration of the

examinations, a training session will be conducted to review the contents of the "Conduct of examinations booklet" (IBO, 2020) provided by the IB.

If fraud or negligence by the school is suspected, the school will follow the procedures outlined in "Academic Integrity (IBO, 2021)". That is, the person designated by the IB to be in charge of the investigation (school principal, DPC, or a third party) will report the investigation to the IB using the "School Staff Statement (Suspected Fraud or Negligence by the School)" within 10 working days of notification. At this time, the person in charge of the investigation will promptly notify all parties involved of the investigation. Faculty and staff should be aware that disciplinary action by the IB may include revocation of IB Program accreditation and sanctions against the student.

Policy Review

This policy was established in August 2021 and will be reviewed and revised at the end of each school year. The school principal will approve the proposed revisions by the IB Programme Guidance Committee, and revisions will be made.

Reference Data

- 『学問的誠実性』（2021）国際バカロレア機構
- "Academic Integrity" (2019), International Baccalaureate Organization
- "Conduct of examinations booklet 2022" (2021), International Baccalaureate Organization
- "Diploma Programme Assessment procedures 2022" (2021), International Baccalaureate Organization
- "General regulations: Diploma Programme" (2014), International Baccalaureate Organization